

和服と洋服のカラーコーディネートが調和度に及ぼす影響

A20AB123 三輪田奈緒

1. はじめに

和服は、長い日本歴史の中で、日本人の普段着として着用されてきたもので、世界中から評価の高い日本の伝統文化の一つである。

しかし、明治時代に始まった洋装化に伴い、現在では、日常生活において和服を身に付ける人はほとんど見られなくなった。現在、人々にとって和服は、成人式や結婚式などの特別な行事の際に着用する「晴れ着」として認識されている。また、馴染みのない華やかな和服の色使いは、洋服のコーディネートとは異なり、民族服としての存在感を際立たせている。これにより、多くの若者が和服に触れる機会は減少し、薄れつつある。しかし、ここにきて夏祭りや花火大会などのイベント時に浴衣を着用する若者や、来日した外国人が着物を着用して日本の街並みを歩く姿を目にすることも増えた。

そこで、本研究では、和服を洋服のカラーコーディネートの関係を「iD-Fit」を用いて実験試料を作成し、和服と洋服のカラーコーディネートの調和度を検討することにした。

2. 方法

2-1 実験試料

試料は、浴衣/ボトムスには、dp2(赤)、v8(黄)、v12(緑)、v18(青)、W(白)の5色を、帯/トップスにはdk2(暗い赤)、dk8(暗い黄)、dk12(暗い緑)、dk18(暗い青)の4色を選出した。これらの色彩を和服は浴衣と帯、洋服はボトムスとトップスの2色配色として、和服、洋服各20試料の計40試料を「iD-Fit」を用いて作成した。

2-2 視覚評価実験

実験は、作成した40試料を1試料ずつランダムに提示し、女子大学生70名を被験者としてSD法による5段階の官能検査を実施した。評価項目には、「重い-軽い」「柔らかい-硬い」「男性的な-女性的な」「派手な-地味な」「若々しい-年寄りっぽい」「暖かい-冷たい」「好きな-嫌いな」「上品な-下品な」「着てみたい-着たくない」「個性的な-平凡な」「都会的な-田舎的な」「フォーマルな-カジュアルな」の12形容詞対を用いた。得られた評価から平均官能量を算出するとともに、数量化I類によって関与する要因について分析し、検討を行った。



図1 実験試料 (例)

3. 結果および考察

3-1 官能検査結果

12形容詞対における官能検査結果をもとに、全イメージの平均官能量を算出した。紙面の都合でここではイメージ評価において重要であるものを抜粋し、取り上げた(図2)。

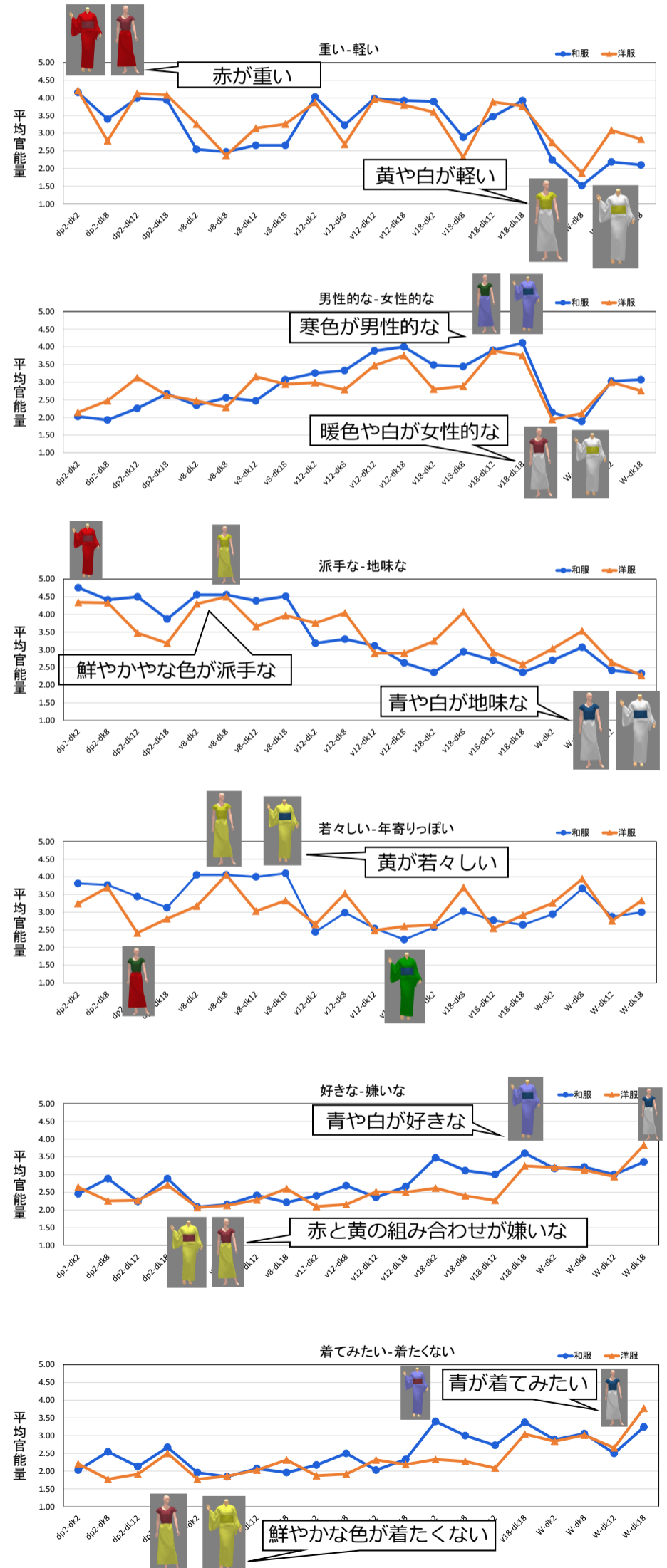


図2 平均官能量

3-2 因子分析結果

これらのイメージに關与する要因を檢討するために、得られた平均官能量をもとに、和服、洋服別に因子分析（主成分分析）を行い、結果を表1、2に示した。和服では、固有値1.0以上で「品格・評価性」「活動性」「力量性」の3因子が抽出され、洋服では、固有値1.0以上で「品格性・評価性」「力量性」「性」の3因子が抽出される結果となった。

イメージ	1	2	3	共通性
上品な-下品な	0.985	-0.624	0.259	0.974
好きな-嫌いな	0.978	-0.488	0.269	0.972
着てみたい-着たくない	0.964	-0.469	0.261	0.948
フォーマルな-カジュアルな	0.958	-0.518	0.279	0.921
若々しい-年寄りっぽい	-0.599	0.927	0.249	0.915
個性的な-平凡な	-0.871	0.896	-0.097	0.983
派手な-地味な	-0.865	0.881	-0.258	0.985
男性的な-女性的な	0.326	-0.874	-0.290	0.840
都会的な-田舎的な	-0.332	0.874	0.211	0.818
暖かい-冷たい	-0.741	0.832	-0.348	0.886
柔らかい-硬い	0.254	0.132	0.973	0.950
重い-軽い	-0.116	-0.246	-0.970	0.976
寄与率(%)	60.2	23.5	9.3	
累積寄与率(%)	60.2	83.7	93.1	

表1 和服の因子分析結果

イメージ	1	2	3	共通性
好きな-嫌いな	0.985	0.222	-0.138	0.982
上品な-下品な	0.984	0.095	-0.158	0.971
着てみたい-着たくない	0.976	0.243	-0.210	0.984
フォーマルな-カジュアルな	0.957	0.082	-0.021	0.963
個性的な-平凡な	-0.820	0.303	0.609	0.914
重い-軽い	-0.063	-0.957	-0.341	0.970
柔らかい-硬い	0.166	0.940	0.486	0.887
若々しい-年寄りっぽい	-0.033	0.939	0.665	0.926
都会的な-田舎的な	0.474	0.688	0.589	0.792
男性的な-女性的な	-0.062	-0.657	-0.917	0.919
暖かい-冷たい	-0.404	0.254	0.892	0.896
派手な-地味な	-0.743	0.361	0.746	0.946
寄与率(%)	46.5	36.8	9.6	
累積寄与率(%)	46.5	83.3	92.9	

表2 洋服の因子分析結果

3-3 数値化 I 類による結果

これらのイメージに關与する要因を檢討するために服種、帯/トップス、浴衣/ボトムスの色彩を説明変数、平均官能量を目的変数として数値化 I 類により分析した結果を表3に示した。偏相関係数からすべての形容詞対で浴衣/ボトムスの色彩がイメージに最も影響する結果が得られた。

4. おわりに

本研究では、和服と洋服のカラーコーディネートが調和度に及ぼす影響について検討した結果、和服と洋服ともに黄や青、無彩色の白がイメージに大きく影響することが判明した。イメージに關与する要因では、服種ではなく、浴衣/ボトムスの色彩が各イメージに最も關与していることが明らかとなった。また、和服と洋服でイメージが近似していることから、女子学生が着用する和服のカラーコーディネートを洋服と同じ感覚でコーディネートをしていることが推測できる結果となった。

表3 数値化 I 類による分析結果

アイテム	カテゴリ	重い-軽い		柔らかい-硬い		男性的な-女性的な	
		カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関
種類	和服	-0.061	0.142	0.047	0.207	0.038	0.115
	洋服	0.061		-0.047		-0.038	
浴衣 ボトムス	dp2	0.617	0.803	-0.275	0.815	-0.499	0.829
	v8	-0.428		0.093		-0.244	
	v12	0.465		-0.221		0.528	
	v18	0.247		-0.164		0.628	
	W	-0.901		0.568		-0.413	
帯 トップス	dk2	0.163	0.369	-0.075	0.503	-0.073	0.611
	dk8	-0.145		0.170		-0.332	
	dk12	-0.191		0.070		0.042	
	dk18	0.173		-0.165		0.363	
定数項		3.223		2.859		2.906	
重相関係数		0.816		0.838		0.859	
重相関係数の2乗		0.666		0.702		0.738	
		好きな-嫌いな		上品な-下品な		着てみたい-着たくない	
アイテム	カテゴリ	カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関
	種類	和服	0.088	0.068	0.244	0.094	0.309
	洋服	-0.088		-0.068		-0.094	
	浴衣 ボトムス	dp2	-0.138	0.819	-0.187	0.840	-0.207
v8		-0.436	-0.580		-0.452		
v12		-0.259	-0.157		-0.263		
v18		0.284	0.299		0.352		
W		0.550	0.625		0.570		
帯 トップス	dk2	0.066	0.362	0.060	0.416	0.015	0.331
	dk8	-0.058		-0.080		-0.038	
	dk12	-0.129		-0.150		-0.128	
	dk18	0.121		0.169		0.152	
定数項		2.681		2.928		2.427	
重相関係数		0.835		0.853		0.820	
重相関係数の2乗		0.698		0.728		0.672	
		派手な-地味な		若々しい-年寄りっぽい		暖かい-冷たい	
アイテム	カテゴリ	カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関
	種類	和服	-0.025	0.049	0.125	0.124	0.327
	洋服	0.025		-0.049		-0.124	
	浴衣 ボトムス	dp2	0.651	0.848	0.136	0.683	0.460
v8		0.848	0.570		0.533		
v12		-0.229	-0.471		-0.376		
v18		-0.560	-0.303		-0.556		
W		-0.710	0.067		-0.061		
帯 トップス	dk2	0.026	0.454	0.041	0.257	0.079	0.509
	dk8	0.216		0.108		0.251	
	dk12	0.085		0.021		0.004	
	dk18	-0.328		-0.170		-0.334	
定数項		3.458		3.155		3.079	
重相関係数		0.860		0.700		0.812	
重相関係数の2乗		0.739		0.490		0.660	
		個性的な-平凡な		都会的な-田舎的な		フォーマルな-カジュアルな	
アイテム	カテゴリ	カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関	カテゴリ数量	偏相関
	種類	和服	0.005	-0.030	0.118	0.041	0.178
	洋服	-0.005		0.030		-0.041	
	浴衣 ボトムス	dp2	0.403	0.835	0.146	0.690	-0.069
v8		0.721	0.246		-0.458		
v12		-0.136	-0.420		-0.204		
v18		-0.488	-0.121		0.183		
W		-0.500	0.148		0.548		
帯 トップス	dk2	0.015	0.404	0.178	0.440	0.150	0.558
	dk8	0.148		-0.023		-0.100	
	dk12	0.068		-0.173		-0.200	
	dk18	-0.232		0.018		0.150	
定数項		3.279		2.955		2.654	
重相関係数		0.845		0.733		0.856	
重相関係数の2乗		0.714		0.538		0.732	

5. 参考文献

- 1) 石原久代・加藤綾子：「振袖の着装イメージに關与する色彩要因の検討」
- 2) 石原久代・加藤綾子・加藤千穂：「着装イメージに關与するきものと袴の色彩要因」
- 3) 広井多鶴子：「和服と洋服 女性の服装の変化が意味するもの」
- 4) 小池三枝・野口ひろみ・吉村佳子：「概説 日本服飾史」光生館（2000）